

報道関係者各位

2012 年 1 月 25 日

休学・ギャップイヤー体験中に国際ボランティアと
世界一周やアフリカ縦断などの旅を組み合わせるプログラム

「ぼらいやー」への参加者が年々増加、過去 3 年間で 71 名のメンバーが参加、2012 年春・秋メンバー募集を開始

■NICE は、世界約 100 ヶ国の国際ワークキャンプを主催・派遣して 22 年。

(<http://www.nice1.gr.jp/>)

特定非営利活動法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)は 1990 年に、代表の開澤を中心に設立された、合宿型の国際ボランティア、「国際ワークキャンプ」を日本全国で主催・世界約 100 ヶ国へ派遣する NGO。

これまで、短期・中長期でのボランティア参加した日本人・外国人数は、23,326 人。2011 年は東日本大震災が起き、海外へのプログラム参加者が 2 割ほど減少した。反面、被災地で企画した復興ワークキャンプへ参加する数が増え、総合的には年間で、1000 人を超えるボランティアが日本各地・世界各地へ飛び立った。

■ぼらいやー(国際ボランティア 1 年間プログラム)とは？(http://www.nice1.gr.jp/vol_year/)

NICE では、2009 年よりぼらいやー(国際ボランティア 1 年間プログラム)をスタートした。『休学して、国際ボランティアをしたいが、プラン設計が難しい』『地域の現場を色々見ながら、本格的に貢献したい』という声が多かった。現地集合・現地解散型の国際ワークキャンプは、旅に組み込ませやすく、過去にも多くの学生が休学し、長期間バックパッカーをしながら国際ワークキャンプへ参加するといったスタイルはあった。ただ、一人で全てプラン作りをすることができず、躊躇してしまう人もいる為、プログラム化することで、敷居を低くした。

大学の入学時期に合わせ、春出発と秋出発がある。2009 年春から現在で 71 名のメンバーが参加(中)。44 名が活動を終え、27 名が現在も世界各地で活動をしている。

3 年次に休学し、アジア・北米・南米・ヨーロッパなど 18 ヶ国を回った U さんは、「ワークキャンプを通して、地域のことを知れるのは本当に良かった。世界のいいところを知ると同時に、やっぱり日本とか日本人について考えることが多くなった。」また、アフリカ縦断でケニアから南下し南アフリカまで渡った F さんは、「一日一食しか食べれない人、お金を得る手段がなく売春するしかない人、国で内戦が起こり避難生活をしている人々、家族を知らない人々、生まれてすぐ死んでいく人々。彼らと交流したことで物に対する見方・考え方が変わり、今まで当たり前と思っていたものを大切にしようと思うようになった。」

～国際ワークキャンプとは？～

日本国内や世界約 100 ヶ国で行われるプログラムに、世界中から集まった仲間と寝食を共にしながら地域の人たちと行うボランティア活動です。

環境保護、福祉、農業、村おこしなど、それぞれの地域の特色あるプロジェクトに取り組みます。

必要なのは、ヤル気と行動力。そしてカタコト以上の英語力のみ。

～ぼらいやー7 期生・8 期生募集要項～

●定員：15 名(コースごとの定員は特にありません。)

●期間：第 7 期＝12 年 4 月～13 年 3 月

(登録期間は、12 年 1 月～4 月)

第 8 期＝12 年 10 月～13 年 9 月

(登録期間は、12 年 6 月～10 月)

●問合せ：NICE ぼらいやー係 LM-in@nice1.gr.jp(井口)

●ぼらいやーブログ：<http://nice-volyear.blogspot.com/>